

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	生涯学習の機会充実	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		02-02-06		氏名	田原義大
			電話	64-1841	
			このシート作成に要した時間	1.5 時間	

この施策の アピール ポイント	生涯学習の成果を発揮し地域に還元する場として、学校支援ボランティアがあり、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動として定着しつつあります。また、子どもの読書活動の推進を目的として、関係者の資質向上やネットワークの構築をめざした取り組みもなされています。
-----------------------	---

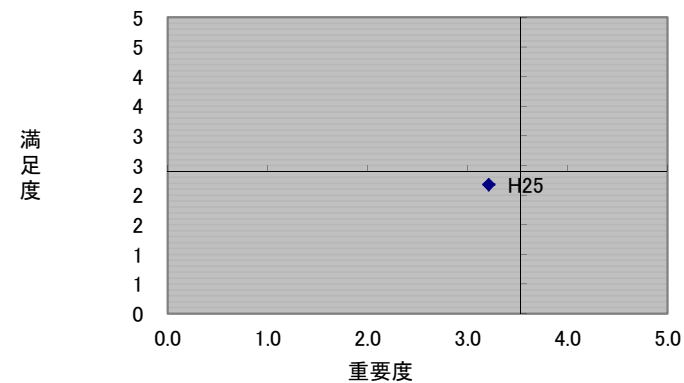
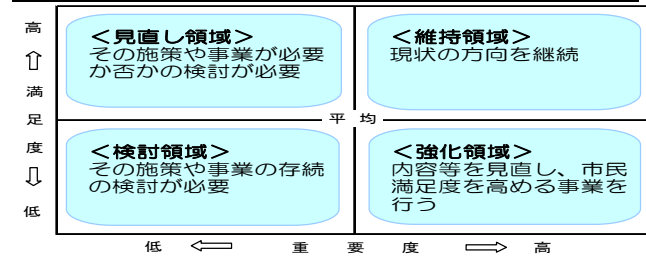
この施策の 平成25年度の 施政方針	学校と連携した教育支援活動の推進と生涯学習ボランティアを養成していくとともに、生涯学習関係機関及び社会教育関係団体と連携して家庭教育及び体験活動への参加を推進していく。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	自己実現施策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画 (中項目)	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	全ての市民が様々な機会や場を活用し、自らの学習意欲を満たし、生活を豊かにする。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	心豊かで生きがいのある人生をおくるため、学びのニーズに合った学習機会の提供が求められるが、情報化、国際化、少子高齢化などの社会変化や生活様式の変化によりニーズは刻々と変化している。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援の推進 学習意欲の誘導 学習の成果を発揮する場の提供 学習活動の深化 情報の収集と提供 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度				H25
重要度				3.21
満足度				2.18



調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度、満足度ともにやや低い傾向となっている。実施事業の充実と一般への周知に努める必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H23	H24	H25			H26	H27
成果指標 自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	目標	%	35.0	35.0	35.0	市民意識調査結果 (H25は未実施)	H26	35.0
	実績	%	30.6	32.0	-		H28	35.0
	達成率	%	87.4	91.4	#VALUE!		H34	40.0
	ベンチマーク						-	-
参考指標① この1年で何らかのボランティア活動を行ったことがある市民の割合	目標	%	50.0	50.0	50.0	市民意識調査結果 (H25は未実施)	H26	50.0
	実績	%	29.9	35.9	-		H28	50.0
	達成率	%	59.8	71.8	#VALUE!		H34	55.0
	ベンチマーク						-	-
参考指標② 学校支援地域本部事業実施校数	目標	校	3	9	9	学習の成果を発揮する場の数として学校支援地域本部実施数を指標とした	H26	10
	実績	校	3	7	8		H28	11
	達成率	%	100.0	77.8	88.9		H34	12
	ベンチマーク						-	-
参考指標③ 学校支援ボランティアの人数	目標	人	350	400	400	学習の成果を発揮した人数として学校支援ボランティアの数を指標とした	H26	600
	実績	人	312	350	550		H28	700
	達成率	%	89.1	87.5	137.5		H34	1,000
	ベンチマーク						-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	備前まなび塾	関係者の連携と情報交換・情報共有による安全で健やかな学習環境づくり
学校教育課	放課後サポート事業	関係者の連携と情報交換・情報共有による安全で健やかな学習環境づくり
こども課	放課後児童健全育成事業	関係者の連携と情報交換・情報共有による安全で健やかな学習環境づくり

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	子どもたちへの支援を通じて、生涯学習成果の発揮並びに地域への還元の場として、学校支援地域本部事業を実施している。そのためにも、事業趣旨を周知の上で、多くの市民に参画してもらうことが重要となる。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	様々な学習ニーズに応えるべく、多くの事業を実施しているが、ややもすると参加する方が固定化する傾向がある。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	意識調査では自発的な学習への取組み割合、何らかのボランティア活動への取組み割合は上昇しているが、年度によりばらつきも見られ、今後も推移を見守っていく必要がある。市民の参画を一層促すため、活動しやすい事業を検討していく。	
進行年度 (H26年度) の取組内容 (課題解決状況)		学校支援地域本部事業は、25年度3中学校、5小学校で実施したが、26年度は更に2小学校で追加実施する。	
翌年度 (H27年度) の取組目標		学校支援地域本部事業の量・質の拡充を図るとともに、備前まなび塾等類似事業との調整を図る。	
二次評価者コメント		教育委員会では市民の皆様がこれまでに学び培ってきた力を、地域のため子どものために発現させる場を、多く提供しています。自分の持てるものをどんどん表現し、お互いに住みよい地域をつくりましょう。育てながら育ち合う社会を目指しましょう。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職 教育次長 氏名 末長 章彦			

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円、人）										施策への 貢献度	
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	生涯学習管理運営事業	生涯学習課管理事業	単市	369	174	0.02	491	193	0.02	367	238	0.03	570	☆
		社会教育委員活動事業	単市	207	648	0.07	183	499	0.05	158	486	0.05	244	☆☆☆
		社会教育指導員活動事業	単市	1,392	0	0.00	1,396	0	0.00	1,384	0	0.00	1,384	☆☆☆
02	奨学資金貸付事業	奨学資金貸付事業	法定	3,362	1,524	0.19	5,400	998	0.10	6,600	992	0.10	7,322	* 法定事務
03	生涯学習推進事業	学校支援地域本部事業	補助	1,800	2,153	0.26	1,800	2,115	0.26	2,350	2,676	0.32	2,590	☆☆☆☆☆
		人材養成講座事業	単市	32	79	0.01	36	79	0.01	14	0	0.00	42	☆☆☆
		子ども読書活動推進事業	単市	0	1,154	0.14	0	2,258	0.27	0	1,348	0.16	0	☆☆☆☆
		教育の日関連事業	単市	57	852	0.09	81	1,044	0.11	88	812	0.10	88	☆☆
04	社会教育関係団体支援事業	成人式運営事業	単市	316	1,655	0.18	347	2,111	0.23	387	1,793	0.22	458	☆☆☆
		備前市PTA連合会補助事業	単市	80	189	0.02	80	185	0.02	80	238	0.03	80	☆☆
		備前市婦人協議会補助事業	単市	216	849	0.09	216	279	0.03	216	238	0.03	216	☆☆
この施策に費やした資源（単位：千円、人）			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度								
			7,831	9,277	1.07	10,030	9,761	1.10	11,644	8,821	1.04	12,994		